

事業名	感染症予防普及費			調査番号	53
細事業名	感染症予防普及事業費	財務コード	090802		
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 感染症 担当 (内線)	3511			

事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県機関、市町村、医療機関等に従事する職員(感染症担当職員)	その対象をどのような状態にして 感染症の動向に関する最新情報の取得及び情報交換を行っている	結果、何に結びつけるのか 感染症の予防及びまん延防止、感染症の患者に対する医療体制の確立
内容	1 事業概要 感染症予防対策の研修や学会等への参加を通じて、関係者の感染症に対する知識の向上に努める。 2 内容 感染症に関する防疫講習会の開催(感染症の発生を想定した講習会の実施) 感染症対策研修会や関連学会への担当職員の派遣		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	講習会の開催 1回 研修会等への派遣 2名	目標	講習会1回、研修派遣2名	講習会1回、研修派遣2名	講習会1回、研修派遣2名	講習会1回、研修派遣2名	講習会1回、研修派遣2名	講習会3回、研修派遣2名	
		実績(見込)	講習会1回、研修派遣2名	講習会1回、研修派遣1名	講習会1回、研修派遣1名	なし	研修派遣1名	講習会1回、研修派遣2名	
		達成率	100.0	100.0	100.0	0.0	50.0		
		達成区分	b	b	b	d	c		
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		87	82	115	0	37	169	353	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	関係法令の改正対応や担当職員の長期療養等により、当該事業に係る講習会の開催は出来なかったが、国立保健医療科学院の集団感染症対策研修に保健所職員1名を派遣し、復命研修を開催した。
成果指標	b		国立保健医療科学院の集団感染症対策研修への参加により、感染症の疫学調査能力が向上し、復命研修を行うことにより他の担当職員への知識の普及が図れた。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他	
説明	当該年度に発生した重要な感染症の予防やまん延防止に係る講習会の開催や最新情報を習得するための研修会等への出席は県民の健康危機管理対策のうえでも県が実施すべき事業である。		
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない	
説明	県内外の専門家による講演や最新情報を習得した職員による復命研修等により、県の感染症まん延防止対策の推進が図れる。		
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他事業効果を更に高めるため、研修会の開催について県医師会や拠点病院等の共同開催が望ましい	
その他	説明		
見直しの必要性	有	研修会開催のプロセスや派遣研修の派遣先の選定方法については、見直す余地がある。	

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

拡大	説明	平成29年度の新規主要施策の一部として、重大感染症発生時に対応可能な医療従事者を養成するため、2回の研修会を追加。
----	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。